



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社エー・アンド・デイ 上場取引所 東
 コード番号 7745 U R L <http://www.aandd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 古川 陽
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 貞雄 (T E L) (048)593-1111
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,610	△1.1	201	-	△255	-	△459	-
23年3月期第3四半期	21,851	9.5	△145	-	△429	-	△640	-

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △1,033百万円 (-%) 23年3月期第3四半期 △1,287百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△22 74	-
23年3月期第3四半期	△31 82	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	38,082	11,106	29.1
23年3月期	37,460	12,248	32.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,071百万円 23年3月期 12,215百万円

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金				合計
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	7.00	7.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有・無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	30,200 △1.5	1,000 80.3	500 69.8	230 △57.2	11 39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有・無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	22,435,500株	23年3月期	22,331,500株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,213,184株	23年3月期	2,213,184株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	20,192,974株	23年3月期3Q	20,118,356株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断や電力供給不足、消費活動に対する自粛ムード、政治の混迷等による停滞の後、サプライチェーンの建て直しや復興需要の高まりなどから景況感の持ち直しが見られたものの、欧州の信用不安に伴う世界経済の減速や円高の長期化などにより、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループでは、既存市場の深耕拡大に努めるとともに、新市場の開拓や新規顧客の獲得に注力し、また、市場ニーズの変化に対応した新技術・新製品の開発を積極的に推進してまいりました。経費面では、製造原価の低減に努めるとともに、研究開発費を含む経費削減に取り組んでまいりました。

この結果、第3四半期連結累計期間における売上高は21,610百万円（前年同期比1.1%減）となり、営業利益は201百万円（前年同期は145百万円の営業損失）、経常損失は255百万円（前年同期は429百万円の経常損失）、四半期純損失は459百万円（前年同期は640百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①計測・計量機器事業

日本における計量機器事業は、ロードセル、電子天秤及び台秤の売上が好調に推移しました。計測機器事業は、節電対策の影響から売上の伸びた温湿度計や熱中症指数計を中心に堅調に推移しました。また、試験機は物性試験機を中心に回復が見られ堅調な推移となりました。計測・制御・シミュレーションシステム（DSPシステム）は、震災後、自動車メーカーを中心に設備発注の延期等があったため、受注は回復傾向にあるものの売上高は低調な結果となりました。

米州における計量機器事業は、電子天秤がジュエリー・ゴールド関連市場向けに好調を維持しており、また、医薬品関連市場も好調が続いております。計測機器事業は、DSPシステムは設備発注の延期、競争の激化により低調な推移となりました。効率化を進め競争力を強化し新市場の開拓や新規顧客の獲得に努めてまいります。

欧州における計量機器事業は、ロシアを中心に堅調に推移しております。今後も新市場の開拓を推進し販路拡大を図ってまいります。

アジア・オセアニアにおける計量機器事業は、韓国では計量機器全般が好調を維持しております。また、インド市場では、ジュエリー市場向け電子天秤を中心に売上は好調に推移しております。

この結果、計測・計量事業の売上高は12,618百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は95百万円（前年同期は営業損失496百万円）となりました。

②医療・健康機器事業

日本における医療機器事業は、メディカル計量器の売上が引き続き好調な他、新製品を投入したベッドサイドモニターも売上増に寄与し好調な結果となった一方、健康機器事業は、大口契約終了等の影響から減収を余儀なくされました。

米州における健康機器事業は、カナダ市場で苦戦しながらも現地通貨ベースでは前年同期並みの水準を維持できたものの、円高のため円ベースでの売上高は前年同期を下回る結果となりました。

欧州における健康機器事業は、当社の主要マーケットであるロシアにつきましては、新製品投入や新規開拓により現地通貨ベースでの売上は好調であったものの、円高のため円ベースでの売上高は前年同期を下回る結果となりました。また、英国では主力のテレメディシン向け血圧計・体重計の出荷が減少したことから低調な結果となりました。

アジア・オセアニアにおける医療機器事業は、韓国は携帯型血圧計や全自動血圧計を中心に堅調な推移となりました。健康機器事業は、中国において販売体制を見直した影響から一時的に売上を大きく落としましたが、今後巻き返しを図ってまいります。

この結果、医療・健康機器事業の売上高は8,991百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益は1,029百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は38,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ622百万円増加しました。これは主に現金及び預金が596百万円、たな卸資産が849百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が667百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は26,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,764百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が404百万円、1年内返済予定の長期借入金が432百万円、長期借入金が592百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11,106百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,142百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が600百万円、為替換算調整勘定が567百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月4日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社では税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,421	5,017
受取手形及び売掛金	8,837	8,169
有価証券	0	0
商品及び製品	5,020	5,394
仕掛品	3,549	3,850
原材料及び貯蔵品	2,364	2,539
繰延税金資産	596	570
その他	953	1,310
貸倒引当金	△322	△211
流動資産合計	25,421	26,640
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,728	3,804
その他	4,078	3,946
有形固定資産合計	7,807	7,751
無形固定資産		
のれん	793	660
その他	2,238	1,963
無形固定資産合計	3,031	2,624
投資その他の資産	1,198	1,066
固定資産合計	12,038	11,442
資産合計	37,460	38,082
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,464	2,869
短期借入金	14,604	14,713
1年内返済予定の長期借入金	1,257	1,689
未払法人税等	147	98
賞与引当金	546	281
製品保証引当金	126	125
その他	2,016	2,574
流動負債合計	21,162	22,351
固定負債		
長期借入金	2,144	2,736
退職給付引当金	1,425	1,393
製品保証引当金	18	12
その他	461	481
固定負債合計	4,049	4,624
負債合計	25,211	26,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,372	6,388
資本剰余金	6,388	6,404
利益剰余金	2,928	2,328
自己株式	△1,565	△1,565
株主資本合計	14,123	13,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△8
為替換算調整勘定	△1,907	△2,474
その他の包括利益累計額合計	△1,907	△2,483
少数株主持分	32	34
純資産合計	12,248	11,106
負債純資産合計	37,460	38,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	21,851	21,610
売上原価	11,860	11,486
売上総利益	9,991	10,123
販売費及び一般管理費	10,136	9,921
営業利益又は営業損失(△)	△145	201
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	0	4
持分法による投資利益	24	—
助成金収入	25	12
その他	52	35
営業外収益合計	115	65
営業外費用		
支払利息	215	231
持分法による投資損失	—	25
為替差損	118	196
その他	64	67
営業外費用合計	399	521
経常損失(△)	△429	△255
特別利益		
固定資産売却益	1	0
貸倒引当金戻入額	0	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	5	10
投資有価証券評価損	14	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
災害による損失	—	12
特別損失合計	42	28
税金等調整前四半期純損失(△)	△470	△283
法人税、住民税及び事業税	189	136
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△13	—
法人税等調整額	△13	33
法人税等合計	162	169
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△633	△453
少数株主利益	6	6
四半期純損失(△)	△640	△459

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△633	△453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△8
為替換算調整勘定	△642	△569
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△2
その他の包括利益合計	△654	△580
四半期包括利益	△1,287	△1,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,289	△1,035
少数株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	8,120	2,305	430	1,341	12,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,181	30	—	1,341	2,554
計	9,302	2,336	430	2,683	14,752
セグメント利益又は損失(△)	△631	54	10	69	△496

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,761	2,036	4,475	379	9,653	—	21,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,763	3	1	3,578	8,346	△10,900	—
計	7,524	2,039	4,477	3,958	17,999	△10,900	21,851
セグメント利益又は損失(△)	1,005	△67	376	80	1,394	△1,043	△145

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,043百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△888百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	8,800	1,915	460	1,441	12,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,194	93	14	1,417	2,720
計	9,995	2,009	475	2,859	15,339
セグメント利益又は損失（△）	57	△37	△20	95	95

	医療・健康機器事業					調整額 （注1）	四半期連結 損益計算書 計上額 （注2）
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,461	1,861	4,337	330	8,991	—	21,610
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,065	4	0	3,053	7,123	△9,844	—
計	6,526	1,866	4,338	3,384	16,114	△9,844	21,610
セグメント利益又は損失（△）	596	△20	328	125	1,029	△923	201

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△923百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△873百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。